

し 自然と共に の 伸び伸びと い 生きるまち 篠井



平成31年3月

篠井地区ゆたかなまちづくり協議会
(篠井地域ビジョン策定委員会)



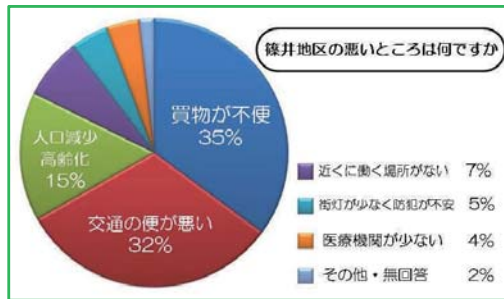
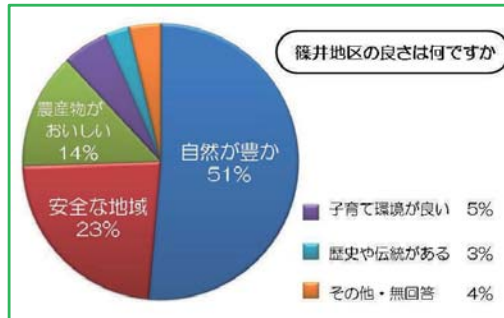
篠井地域ビジョン策定の趣旨

篠井地区は人口減少や少子超高齢社会の進行など、地区を取り巻く社会環境に大きな変化が生じてきました。

こうした地域の課題に対する対応やこれまで取り組んできた地域事業のさらなる発展、さらには地域の知られざる魅力の発見、活用を実施して、「篠井に住んで良かった」「これからも住み続けたい」、さらには「住んでみたい」と思えるような篠井地区とするため、『篠井地域ビジョン(まちづくり計画)』を策定し、その実現に向けた取り組みを示しました。

篠井地区の現状① (アンケート結果から)

篠井地区は、一言でいうと、自然豊かで農産物がおおいしく安全な地域である反面、商業施設が少なく交通の便が悪く、人口減少・少子超高齢化に直面している地区です。



篠井地区の現状② (人口動態から)

| 項目 | 宇都宮市 | 篠井地区 | 篠井地区の順位 (全16地区) |
|-------|---------|-------|--------------------|
| 人口 | 521,906 | 2,491 | 16位 |
| 世帯数 | 229,011 | 960 | 16位 |
| 出生数 | 4,653 | 5 | 16位 |
| 死亡数 | 4,733 | 28 | 16位 |
| 自然増人数 | ▲80 | ▲23 | 9位 |
| 転入者数 | 32,612 | 57 | 16位 |
| 転出者数 | 32,084 | 75 | 16位 |
| 社会増数 | 528 | ▲18 | 10位 |
| 人口増加数 | 448 | ▲41 | 10位 |

(平成28年)

地域資源

篠井地区には、榛名山・男山・本山・飯盛山・雷電山・寅巳山などの標高300~500m程の山々が連なり、逆川・寅巳川・辰巳川・赤堀川・田川の5本の大きな河川も流れています。

地区内には、このような豊かな地域資源を活かした「うつのみや平成記念子どものもり公園宇都宮市冒険活動センター」、
「栃木県林業センター」の公的施設をはじめ、りんご、しいたけ、うどん等の観光農業も盛んで、季節には多くの観光客で賑わいを見せています。



歴史・文化

・篠井金山

金山開発の詳細経緯は言い伝えによると室町後期頃から開始され昭和の時代まで存続し、金山に関連して伝わる「篠井の金掘唄」は市の無形文化財に指定されています。

・石那田八坂神社の天王祭(7月)

石那田の八坂神社の4年に一度のお祭りで、6台の屋台が石那田地内を練り歩いて、夜半、八坂神社に上遷します。

・飯山の獅子舞(8月15日)

阿蘇神社に奉納され、上演される舞は、一人立三匹獅子舞で行われ、市の無形文化財に指定されています。

篠井地区の将来像

しのいの い 篠井 自然と共に 伸び伸びと 生きるまち

この将来像は、篠井地区が10年後も自然と共に伸び伸びと生き続けて行くことを目指して設定したもので、次に掲げる4つの目標に向かって篠井地区のまちづくりを進めていきます。

1 地域コミュニティ

目標 みんなが参加・交流し、魅力と幸せが実感できるまち

【取り組みの方向性・考え方】

【地域住民活動】

- 誰もが気軽に参加できる地域活動や事業を実施する。
- 子どもたちを含めた幅広い年代に受け入れられるような事業を実施する。
- 集落営農組織等と連携しながら農産物を生かした事業を実施し、住民交流を図る。
- 篠井小学校の存続に向けた住民活動を推進する。



【地域自治】

- 健全な組織活動ができるよう人口減少等の現状を見据えながら、検討組織を設置し組織のスリム化などの検討を行う。

【地域産業】

- 宇都宮アルプス（榛名山・男山・本山・飯盛山など）や河川などの自然を生かした事業を定着させる。

【ブランド化】

- 篠井のブランドが定着するよう、うどん・りんご・きのこ・加工物（みそ等）の更なる発信を行う。

【スポーツ振興】

- 人口減少や参加者離れに対応できるように体育祭の実施方法を検討する。
- スポーツを通じた世代間交流を実施する。



【祭・イベント】

- 住民が楽しんで参加できるような地域イベントを検討する。

【婚活】

- カップルが毎年誕生するような手作り婚活を定着させる。

【交通】

- 篠井はるな号の利便性向上を図るため、現状や課題を整理し改善策の検討を行う。
- 公共交通の実態調査を地域内で実施し、特に通学に関する現状や課題を整理する。

【雇用】

- 働く場所が確保され雇用が創出できるよう、農業生産に地域労力を活用する。

【住環境】

- 豊かな自然や伸び伸びと子育てができる篠井の良さを様々な媒体を活用し情報発信を行う。

2 健康福祉

目標 世代を超えて、心にゆとりと思いやりのあるまち

【取り組みの方向性・考え方】

【健康】

- 自ら健康な身体を維持できるよう、医師や医療機関等から話を伺い、健康づくりや健康管理の情報を発信する。



【食】

- 郷土料理や健康料理のレシピを地域住民にわかりやすく発信する。

【住民交流】

- いきいきサロンに積極的に参加できるように、利用者やサロン同士での交流会などを検討する。
- 地区内各団体が小学校などと世代を超えて交流する。
- 回覧版の手渡しなど見守り活動も含めて、分け隔てなく住民交流を進める。



【共生社会】

- 地区内の各団体等と連携して、高齢者・障がい者・子どもにやさしい地域づくりを推進する。

3 生涯・健全育成

目標 自然と共に伸び伸びと生きるまち

【取り組みの方向性・考え方】

【地域資源】

- 篠井の良さをいろいろな媒体を活用し上手にPRする。
- 収穫マップなどを作成し、安全で安心な美味しい農作物のPRを行う。
- 自然が満喫できる篠井地区内を案内できるガイドを養成する。



【生涯学習】

- 伝統文化の勉強会などを開催し、継承者（担い手）を発掘する。

【ボランティア】

- ボランティア活動に積極的に参加できるように、地域のボランティア組織の周知等を図り行動につなげる。



【健全育成】

- 明るく元気にあいさつができるよう「声かけ運動」を実施する。

【子育て】

- 子どもとかわかる時間がたくさん持てるよう「家庭の日」を推進する。

【教育】

- 教育ボランティアの充実など教育しやすい環境をつくる。

4 地域安全・環境

目標 助けあい安全で安心に暮らせるまち

【取り組みの方向性・考え方】

【防災】

- 自助・共助・公助を理解し、災害（地震・水害・火災など）時は地域ぐるみで助け合う、災害に強いまちをつくる。
- 災害の認識を高めるため防災訓練を継続実施し、地域のリーダーを養成する。



【防犯】

- 自治会の班ごとで連絡先の共有を図るなど、地域が家族同様に協力しあい犯罪のない地域を目指す。
- 犯罪をさせない環境整備に努めるとともに、ひとりひとりが意識を高めることで未然に犯罪を防ぐ。



【交通安全】

- 「交通安全は家庭から運動」の推進及び安全教育の推進を図り、交通事故のない明るいまちをつくる。

【道路環境】

- 生活道路や通学路を見通しの良い安全な道路にする。
- 道路環境美化を実施し、ごみのないきれいなまちづくりを行う。

【生活環境】

- 「もったいない運動」を推進し、ひとりひとりがごみの分別やリサイクル活動を実践する。
- 鳥獣被害の発生を防ぐため、地域ぐるみで野生動物の生態などについて学ぶ。

篠井地域ビジョンの実現に向けて

篠井地域ビジョンの実践体制は、篠井地区ゆたかなまちづくり協議会の部会組織、各種団体等で、4つの目標に掲げた「取組の方向性・考え方」に基づき調査検討を進めながら、具体的な手段や手法を決定し、地域の皆さんと共に「地域ビジョン」を実現していきます。

【実践体制のイメージ】



「篠井地域ビジョン」冊子版は篠井地区ゆたかなまちづくり協議会のホームページで見ることができます。



<https://shinoivision.jimdofree.com/>